

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール（ともの家この道）

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍という事もあり、実践につながっていないこともある。地域密着型サービスや意義、理念は理解できている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の理容室利用など、多少はできているが、コロナ禍で以前毎年開催していた地域ピアノ教室との交流会などはできていない。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いただいた意見をもとにサービス向上に活かしている。お花見や運動会など、利用者の生活が豊かになるよう、コロナ禍でも取り組んだ。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度は、法人内クラスター発生時の人員配置や対応など、連携を取りながら様々な課題に取り組むことができた。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	開設当初から、身体拘束はしないことを徹底している。社協実施の介護相談員派遣事業を受け入れていたが、拘束と無縁のオープンな事業所との評価を得た。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「虐待」についても法人内で研修を行っており、職員も理解できている。また、見過ごさず、注意し合える環境作りに努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現場職員は精通していないが、本部がバックオフィスとしての機能を有しており、そこが主体となり活用・支援を行っている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約に関する説明には利用者や家族等に直接お伝えして、理解・納得を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	来訪時などにも、利用者や家族等の意見、要望はないか必ず聞くようにしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員の意見や提案があれば、課長会議や職員会議等で話し合いの場を設けて反映している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	同一労働同一賃金の給与システムをもとにしたキャリアパスを原則としつつ、個々の働き方に応じて、勤務形態や給与コースを柔軟に設定して、条件整備に努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	働きながら介護福祉士や介護支援専門員などの資格取得を目指すよう、研修受講の勤務体制や受講費用の全額負担などおこなっている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍のため、ほとんどできていない。法人内他事業所との交流がやっとである。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共同生活介護であることを念頭に、ご本人を生活の主体者にとらえ、職員は共同生活者にとらえている。制服がないものその表れである。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族やご友人の来訪は極力実現しているが、コロナ禍のため、短時間にしたり人数制限したりするなどしている。			
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の情報収集やアセスメントで意向の把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者や家族等の要望や意見も取り入れ、担当介護職員やケアマネ、訪問看護からの意見ももらいながらケアのあり方を話し合い、反映している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子や気づきは個別記録や連絡ノート等に記入し、職員間での情報共有ができている。ケアの実践・結果はあまり記入できていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時の状況やニーズに合わせて、できる範囲での支援やサービスに努めている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響もあり、外部との接触が制限された状況が続いているため、暮らしを豊かにする工夫が限られている。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関への切り替えを強制せず、本人や家族等の希望を優先し、受診できるよう支援している。それぞれのかかりつけ医とも良好な関係を築いている。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時情報シートの提出、退院時もカンファレンスに参加し、関係づくりに努めているが、御家族と主治医、病院とのコンセンサスがうまくいかず板挟みになり苦慮したこともあった。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期の在り方については入居契約で話し合うが、「そうなったときに考えます」という反応が多く、最終的な意思確認と決定は、看取りが近くなった場合におこなうことが多い。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルを設置し、全職員が同じように対応できるようにしているが、定期的な訓練には至っていない。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員が避難方法等は身につけているが、地域との協力体制については、地域総合防災訓練に参加し、避難名簿を提出するにとどまっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	問題点を検証・改善し、適切な対応に努めてください。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ともの家の理念にも「尊厳のある生活を支援する」とあり、言葉かけや対応はできている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向が言えない人に関しては、家族から希望を聞き、その人らしい生活が実現できるよう職員で考えながら対応している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週に一回程度、お楽しみ食事を開催していて好評である。また、お皿拭きなど、できることはすべてやってもらうようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの食事量、水分量の把握。利用者の状態に応じた食事の形状を考え、支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアを行い。希望や状態に合わせて訪問歯科を利用している。口腔ケア用品も利用者に合わせて選択している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状態や体調に合わせて取り組んでいる。特変があった場合には、その都度、情報を共有し改善や自立の支援に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の配置上、入浴の時間は決まっている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の体調や状況に応じて、日中も休息したり、夜間は安心して眠れるように、主治医と協力して支援できている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康管理契約に基づき、訪問看護ステーションや薬局と情報を共有し理解に努めている。また、薬の変更時には経過や変化の確認を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物たたみや食器拭き、ウェス切り作業など、一人ひとり役割を持って充実した生活を過ごせられるよう支援している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍であっても、散歩や運動会、お花見やドライブ等、戸外に出ることを心がけている。			

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	お金を持つことの大切さは理解できているが、管理できる認知症度ではないため、家族管理となっている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族から電話があった時には本人と代わり、やり取りをしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングなど共同の場は、必要な物以外は置かないようにし、季節ごとに飾りを替えている。席も仲の良い方同士で過ごせるよう配慮し、自立した生活が送れるような工夫を心がけている。		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分の思いを伝えることが困難な方もおられるため、家族の方の情報などを元に、職員が日々の暮らし方の意向に沿った暮らしを考えている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族からの話をもとに、支援計画を作成している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェックに、更衣や入浴時には観察をしている。特変時には家族や主治医、訪問看護との連絡がすぐに取りれるようになっている。		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できるだけ本人の意向に沿って自分のペースで生活ができるように支援している。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室作りは本人と家族が行い、大切にしている物を自室に飾り、自分の馴染みの物は、身に付けて過ごしてもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分の意向・希望を聞きだす事が難しい場合も、催事等には参加してもらっている。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全員一律に家事をしてもらうのではなく、それぞれの有する能力に応じて役割分担をしている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事手伝いや、食事の際の会話など、それぞれの利用者が自分の得意な部分で、他の方との関わりを持ち過ごされている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前行っていたピアノ教室児童生徒との交流会は、コロナ禍により悉く中止になり、非常に残念だった。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域交流はコロナ禍になり少なくなりましたが、職員との信頼関係は築けており、安心した生活が送れるよう支援できている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所自己評価【記述】記載のとおり、今後も適切に実施してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	16. 17. 18.	体調不良や重度化に伴い業務やケア内容が多くなり、一人ひとりの尊重、その人らしい暮らしの取り組みにバラつきがある。利用者の体調や職員体制などの理由が課題として考えられる。	一人ひとりの笑顔が増える。安心して生活を送ってもらう。	ケアプランの見直しと実践を行う、毎月の職員会議で対象者について職員で話し合い考える。	12 か月	
2	1. 2. 3. 4.	コロナ禍もあり運営推進会議など集まりや交流が少なく、地域とのつながりが少なかった。また、外出などの行事もあまり行えていない。コロナも落ち着いて来たので、今後は増やしていきたい。	地域密着型サービスや意義、理念を理解する。	毎月の職員会議を通して理解を深めて、サービスの向上に努めると共に、外出計画を立て実行する。	12 か月	
3					か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。